

校長室通信

10月
October

令和7年10月1日
羽咋市立羽咋中学校
校長 宮下 裕樹
第6号

教科書で教え、行事で成長を促す

先日ご案内したとおり、今月19日、20日に「羽中祭」を開催します。生徒たちにとってのメインイベントが、かけがえのない思い出となるよう準備を進めていきたいと考えております。当日は、時間の許す限り、足を運んでいただき、生徒たちの生き生きとした活動をご覧いただきたいと思います。

現在は、中間テストということもあります、小休止となっていますが、放課後には、17時50分まで残り、準備を進め、1・2年生たちも、全能登新人大会の合間に縫って練習を行うことになります。10月2日以降は、一気に学校祭モードに入っていくものと思いますが、学習、部活動と学校行事のバランスをとりながら、メリハリをつけた活動にしてほしいと願っています。

学校の様々な活動にはねらいがあり、その達成のために授業では、学習内容を教科書を用いて学ばせることが大切であると考えます。「教科書の内容を教える」のではなく、「教科書を使って教える」ことがその目的です。また、学校行事においては、直面する課題を乗り越えさせ、他と関わりながら自らを、そして集団を育てることが、学校行事の目的です。もしかすると、生徒一人一人の学びや成長は、学校行事の方が大きいかもしれません。中学生にとっても多忙なこの時期、ご家庭でも声をかけ、応援をしていただければ幸いです。

閑話休題ではありませんが…②

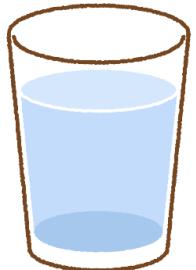
勉強する本当の意味とは…

先日、次のような「ちょっといいお話」を見付けたので紹介します。タイトルは、『母が息子に言った深すぎる“勉強”の本当の意味』です。

(息子) なんで勉強なんかしなきゃいけないの?

という質問に母が机にコップを置いてこう答えた。

(母) 「数学」を学べば、この中に200mlの水があることが数字で見えるようになり、
「理科」を学べば、この水は水素と酸素からできていることを知ることができる。
「社会」を学べば、この水がどこから来たのかが分かり、そして、世界にはこのきれいな水を飲むことができない人たちがいることを知ることができる。
「美術」を学べば、この水の反射をきれいに描くことができるようになるし、
「音楽」を学べば、同じコップでも水の量で音を変えられることにも気付く。
「技術」を学べば、このコップがどんな素材でなぜ漏れないのかがわかり、人の“創造”的な力を知ることができる。
「保健体育」を学べば、この水が体にどれだけ大切な命の正体が見えてくる。
「道徳」を学べば、この水を誰かと分け合うことの大切さを学ぶことができて、思いやりの心が育ち、
「国語」を学べば、今私が話した“全部の意味”を正しく理解できるようになる。
「英語」を学べば、この話を世界の人と分かち合えるようになります。
「哲学」を学べば、この話に何の意味があるのか考えられるようになる。
でも、もし何も学ばなかつたら、コップの中にあるのは「ただの水」で終わる。だから勉強するの。この世界をただ見ているだけの人生で終わらせないためにね。



主体的に学習する心を育むことは、学校にとっても永遠の命題です。「学びに向かう力」は、今後の生徒たちの将来に大きく関わってくると思います。少し立ち止まって勉強って何だろう?と考えてみるのもいいかもしれません。

栄光の足跡

○折口父子記念短歌大会

中学生の部 特選 中谷千梨奈
秀逸 越智 愛心
佳作 仙崎 煌大 大橋 健叶 新田和之進 堀 栄佳

○羽咋市児童生徒科学研究物

特選 新田礼之進 伊藤 鈴 岩井 心望
入選 東 雅姫 土藏 大翔 山本 結以 橋本 京典 村田 禮恩
小林真依子 室井 隆希

○石川県児童生徒科学作品羽咋都市審査会

入選 新田礼之進 伊藤 鈴 岩井 心望

○令和7年度全日本選手権カデットの部 シングルス県予選会 14歳以下の部 2位

○令和7年度全日本選手権カデットの部 ダブルス県予選会 2位 藤森 夏芽

○羽咋市文芸大会 俳句 中学生の部

特選 横山 此香 山口 凜紅 吉野 蒼甫 岩岸 蒼真 江下 亮雅
秀逸 北村 優武 徳島 優菜 福田 依愛 村本 快渚 関軒悠士郎
安中 詩恵 立中 康晴 畠 純太 木村 渚 出村 大悟
佳作 幸田 蓮大 サブコタ・オーシャン

□外部団体所属の競技等

・FRONT LINE 北陸大会 団体1位
・IZ-CONTEST 2025 団体1位 他入賞多数 野口陽菜乃

校内外の行事から

☆羽咋都市新人大会（9/13）

結果については、本校HP参照してください。 <https://cms1.ishikawa-c.ed.jp/hakuij/>

☆後期生徒会任命式（9/18）

後期の生徒会役員等の任命式を行い、生徒会長の新田和之進さんが、力強く決意表明をしてくれました。任命された生徒たちは、学級や生徒会、また学校全体をよりよい方向に導いたり、充実した活動にしたりするという大切な目標を前期の役員の人たちから引き継ぎました。これからも様々な活動を成功に導く推進力となって力を発揮してくれるものと期待しています。



☆羽中プロジェクト（9/26）

あいにくの雨天となってしまったため、やむなく千里浜クリーン活動は中止としましたが、翌日26日は、昨年に続き「妙成寺を国宝に～妙成寺を知り、守り、伝える～」と題して羽咋市の歴史民俗資料館の学芸員中野知幸さんを講師に、講演会を開催しました。妙成寺の歴史や建物を解説していただくとともに、国宝への道のりを詳しく教えていただきました。羽咋市に住む中学生として、今できることを真剣に考える機会となりました。



学力調査の結果について

今年4月に実施された全国（国・数・理）及び県（社・英）の学力調査の結果が示されました。本校においては、全ての教科において県平均を上回る概ね良好な結果となりました。初めて実施された理科のCBT（コンピュータによる試験方式）に苦戦するなど教科によっては、バラつきはあるものの、県平均+2～+12.6という結果になりました。一方、昨年同様、どの教科にも問題の意図を正確に読み取り、適切に表現する力（書く・話す）に課題があることが分かりました。各教科の調査結果を分析するとともに、生徒の十分でないところに目を向けながら、生徒たちの真の実力をつけるため粘り強く指導をしていきます。

編集後記

2023年に部活動の「地域移行」がスポーツ庁から打ち出され、現在は、様々な状況を踏まえた「地域展開」として、休日における部活動を地域クラブ活動にすることが段階的に進められています▼他と比較するものではありませんが、本校の生徒の部活動に対する思いは一様に熱いものがあり、懸命に取り組んでいます。先日、新部長を前に話をしました。「時には、部員と指導者の板挟みになる損な役回りだが、その経験は、自分の成長につながる。君たちには、部長としての行動が求められている。乗り越えてほしい。」と私なりのエールを送りました▼部活動の状況は変化していますが、時代を越え、部活動のよさやその理念は忘れないでほしいと願う私は、時代錯誤なのでしょうか。（宮下）